

高等学校 令和8年度 (3・4学年用) 教科 社会 科目 日本史演習

教科: 社会 科目: 日本史演習 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3・4 学年 1 組 ~ 3 組

教科担当者: (1~3組: 渡辺)

使用教科書: (精選日本史探求 今につながる 未来をえがく 実教)

教科 社会 の目標:

【知識及び技能】古代から現代までを扱い、各時代がどのような時代であったかを総合的に捉えて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】古代から現代までを扱い、各時代がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、表現する。

【学びに向かう力、人間性等】古代から現代への歴史の転換と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、対外的な環境や交流を考察し表現する学習を踏まえ、前の時代との比較などを通して時代の転換について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。

科目 日本史演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古代から現代までを扱い、各時代がどのような時代であったかを総合的に捉えて理解する。	古代から現代までを扱い、各時代がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、表現する。	古代から現代への歴史の転換と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、対外的な環境や交流を考察し表現する学習を踏まえ、前の時代との比較などを通して時代の転換について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 原始・古代の日本と東アジア 【知識及び技能】 人類が日本列島で生活を営みはじめた時代から平安時代までを扱い、原始・古代がどのような時代であったかを総合的に捉えて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人類が日本列島で生活を営みはじめた時代から平安時代までを扱い、原始・古代がどのような時代であったかを東アジア世界の動向と関連付けて考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて時代の転換を理解し、原始社会の特色や古代の国家や社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。	原始・古代の日本と東アジア	【知識・技能】 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸や朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識・技能や思考・判断・表現力の学習や、原始社会の特色についての考察などを踏まえ、例えば、身近な地域や周辺の地域の縄文や弥生などの時代の遺構や遺物から分かることなどを確認し、生徒がこれまでの学習を通じて生じた様々な疑問を交えて、相互に表現する。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	単元 中世の日本と世界 【知識及び技能】 平安時代末から戦国時代までを扱い、中世がどのような時代であったかを総合的に捉えて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 平安時代末から戦国時代までを扱い、中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 古代から中世への歴史の転換と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、対外的な環境や交流を考察し表現する学習を踏まえ、前の時代との比較などを通して時代の転換について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	中世の日本と世界	【知識・技能】 平安時代末から戦国時代までを扱い、中世がどのような時代であったかを総合的に捉えて理解する。 【思考・判断・表現】 平安時代末から戦国時代までを扱い、中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代から中世への歴史の転換と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、対外的な環境や交流を考察し表現する学習を踏まえ、前の時代との比較などを通して時代の転換について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	○	○	○	18
定期考査			○	○		1	

